

予算科目	6 款	農林水産業費	総合計画	第 章		復興計画	()																																					
	1 項	農業費		第 節			()																																					
	3 目	農業振興費		()			()																																					
実施計画 掲載ページ			中 事 業		農業振興対策費																																							
事業コード			事 業 名		農作物有害鳥獣捕獲事業																																							
目的及び事業内容		<p>牡鹿半島では、ニホンジカによる交通事故、農林業被害が増加しており、最近では半島外の地域でもニホンジカが原因とみられる農林業被害の情報が寄せられている。そのため、ニホンジカ被害の軽減、被害区域拡大の防止のため、宮城県猟友会石巻支部及び河北支部に有害鳥獣捕獲業務を委託し、宮城県ニホンジカ管理計画に基づき、年間捕獲頭数700頭を目標に捕獲圧を高め、被害の軽減、防止に努める。</p> <p>また、河北、河南、北上においてはカルガモやカラス等の予察捕獲を実施し、農作物の被害防止に努める。</p>																																										
取 組 実 績		<p>1 石巻市有害鳥獣捕獲業務（ニホンジカ）</p> <p>(1) 宮城県猟友会石巻支部（石巻警察署管内） 委 託 料 7,052,400円（有害鳥獣捕獲業務） 委託期間 平成28年4月18日～平成29年2月20日</p> <table border="1"> <tr> <td>稲井地区</td> <td>渡波地区</td> <td>荻浜地区</td> <td>牡鹿地区</td> <td>合計</td> </tr> <tr> <td>25頭</td> <td>72頭</td> <td>70頭</td> <td>335頭</td> <td>502頭</td> </tr> </table> <p>(2) 宮城県猟友会河北支部（河北警察署管内） 委 託 料 7,052,400円（有害鳥獣捕獲業務） 委託期間 平成28年4月18日～平成29年2月20日</p> <table border="1"> <tr> <td>河北地区</td> <td>雄勝地区</td> <td>桃生地区</td> <td>北上地区</td> <td>合計</td> </tr> <tr> <td>28頭</td> <td>38頭</td> <td>9頭</td> <td>7頭</td> <td>82頭</td> </tr> </table> <p>2 石巻市鹿除去作業（民有地の網に絡まったニホンジカ除去） 委 託 料 1,360,800円（単価契約） 委託期間 平成28年4月1日～平成29年3月31日</p> <table border="1"> <tr> <td>石巻支部</td> <td>河北支部</td> <td>計</td> </tr> <tr> <td>59頭</td> <td>67頭</td> <td>126頭</td> </tr> </table> <p>3 農作物有害駆除業務（河北、河南、北上、桃生地区） 委 託 料 1,342,020円 委託期間 平成28年5月～平成28年9月</p> <table border="1"> <tr> <td>カルガモ</td> <td>カラス</td> <td>キジバト</td> <td>スズメ</td> <td>合計</td> </tr> <tr> <td>237羽</td> <td>266羽</td> <td>8羽</td> <td>19羽</td> <td>530羽</td> </tr> </table>							稲井地区	渡波地区	荻浜地区	牡鹿地区	合計	25頭	72頭	70頭	335頭	502頭	河北地区	雄勝地区	桃生地区	北上地区	合計	28頭	38頭	9頭	7頭	82頭	石巻支部	河北支部	計	59頭	67頭	126頭	カルガモ	カラス	キジバト	スズメ	合計	237羽	266羽	8羽	19羽	530羽
稲井地区	渡波地区	荻浜地区	牡鹿地区	合計																																								
25頭	72頭	70頭	335頭	502頭																																								
河北地区	雄勝地区	桃生地区	北上地区	合計																																								
28頭	38頭	9頭	7頭	82頭																																								
石巻支部	河北支部	計																																										
59頭	67頭	126頭																																										
カルガモ	カラス	キジバト	スズメ	合計																																								
237羽	266羽	8羽	19羽	530羽																																								
成 果		<p>農作物に大きい被害を及ぼしているニホンジカの捕獲業務において、昨年度より捕獲日数を増やし80日間実施したこと等により捕獲頭数が昨年度に比べ265頭多く捕獲され、被害の軽減と被害区域拡大の防止に努めた。</p>																																										
成果に係る評価		<p>東日本大震災の影響によるニホンジカの生息域拡大により牡鹿半島外での被害の増加がみられた。有害捕獲の委託先を、従来の宮城県猟友会石巻支部に加えて河北支部との2支部体制として捕獲強化に取り組んだ、平成28年度は捕獲日数を増やしたため捕獲頭数が増加した。今後も、交通事故等の生活環境被害や農林業者の労働意欲の低下が懸念され、また最近では住宅地での目撃も報告されていることから、今後も被害の軽減・防止に努めていく必要がある。</p>																																										
(単位：円)																																												
予算の執行状況		予算額	決算額	決算額の財源内訳																																								
				国(県)支出金	地方債	その他	一般財源																																					
		16,863,000	16,807,620	6,801,084				10,006,536																																				

予算科目	6 款	農林水産業費	総合計画	第3章	地域資源を活かして元気産業を創造するまち	復興計画	()	
	1 項	農業費		第4節	魅力的な農林業を確立する		()	
	3 目	農業振興費		(1)	効率的な高生産性農業を確立する		()	
実施計画掲載ページ		P 42	中 事 業		農業振興対策費			
事業コード		003-004-001-00169	事 業 名		みやぎの水田農業改革支援事業			
目的及び事業内容		米の需給調整に係る集団転作に取り組む生産組合等を対象とし、作業の効率化及び適期作業による品質向上を図るための作業機械導入経費の軽減を目的に、宮城県と本市が補助金を交付する。						
取組実績		<p>1 転作用機械を導入する補助対象事業者に対し、県補助金（1/3～4/10）に市が5%嵩上げた補助金を交付し、作業機械導入経費の軽減を図った。</p> <p>(1) 事業実施主体数：8組織</p> <p>(2) 事業実施主体及び導入機械</p> <p>ア 鶴家営農生産組合（河北）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 乾燥機3台/部材一式 <p>イ 相野谷生産組合（河北）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 溝堀機、畦塗機 各1台 <p>ウ 中島生産組合（河北）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 汎用コンバイン1台/部材一式 <p>エ 馬鞍生産組合（河北）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 乗用管理機、薬剤散布機 各1台 <p>オ 青木水田農業生産組合（河南）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 汎用コンバイン1台/部材一式 <p>カ 株式会社ヒロふぁーむ（河南）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ アッパーロータリー1台、シーダー1台/部材一式 <p>キ 須江営農組合</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 汎用コンバイン1台/部材一式 <p>ク 株式会社入沢ファーム</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 大豆クリーナー1台 						
成 果		<p>8営農組織において、転作用機械を導入し、麦、大豆栽培における規模拡大、適期作業の確立や品質向上が図られた。</p> <p>1 規模拡大面積：18.8ha増加</p> <p>2 10a当収量：20kg～120kg増加</p> <p>3 1等比率：10%～40%上昇</p>						
成果に係る評価		<p>国の米政策として、米の需給調整としての転作を必要不可欠な取り組みとして求められており、転作した作物に対して交付金が支払われている。</p> <p>担い手が農地集積を図り、麦・大豆・飼料作物を圃地化して生産することによって、より有利な交付金が受けられる。そのためには、作業機械の導入による適期作業体系の構築が必要である。</p> <p>今回の事業実施の結果、適期での播種・防除・刈り取りの体系が強化され、水田の多面的・効果的な活用と共に生産物の品質・収穫量の向上体制が図られたことから、今後も継続して事業を推進する必要がある。</p>						
(単位：円)								
予算の執行状況	予算額		決算額		決算額の財源内訳			
					国(県)支出金	地方債	その他	一般財源
	20,960,000		20,359,000		18,100,000			2,259,000

予算科目	6 款	農林水産業費	総合計画	第3章	地域資源を活かして元気産業を創造するまち	復興計画	()	
	1 項	農業費		第4節	魅力的な農林業を確立する		()	
	3 目	農業振興費		(1)	効率的な高生産性農業を確立する		()	
実施計画掲載ページ		P 42	中 事 業		農業振興対策費			
事業コード		003-004-001-00168	事 業 名		園芸特産重点強化整備事業			
目的及び事業内容		園芸生産用施設・設備の導入等により、園芸特産物の安定的な供給を支える担い手の育成・確保を図りながら、組織化による集落農業の実践を進め、高品質で収益性の高い作物の計画的な生産出荷を可能とする産地を育成することを目的とする。						
取組実績		<p>園芸作物栽培に係る施設・機械を導入する補助対象事業者に対し、県補助金（1/3）に市が5%嵩上げし補助金を交付した。</p> <p>1 事業実施主体数：1組織</p> <p>2 導入施設及び機械</p> <p>(1) 宮城フラワーステーション</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ ホイールローダー 1台 						
成 果		<p>機械の導入によって、もみ殻の有効利用による堆肥作り等が可能となり、菊の優品率の向上、長期的な品質維持を図ることができた。</p>						
成果に係る評価		<p>近年、農産物生産においては産地間競争が一層激しくなっており、生産量の増加と省力化による安定生産、コスト削減が、この競争を勝ち抜くために必須である。</p> <p>今回の事業実施の結果、機械の導入や施設整備により生産力の向上や省力化に結びつき、収益性の高い経営が図られたことから、本市における生産者の高収益性経営を目指すため、継続して事業を推進していく必要がある。</p>						
(単位：円)								
予算の執行状況	予算額		決算額		決算額の財源内訳			
					国(県)支出金	地方債	その他	一般財源
	1,265,000		1,265,000		1,100,000			165,000

予算科目	6 款	農林水産業費	総合計画	第3章	地域資源を活かして元気産業を創造するまち	復興計画	()	
	1 項	農業費		第4節	魅力的な農林業を確立する		()	
	3 目	農業振興費		(2)	安定的な農業経営対策を推進する		()	
実施計画掲載ページ		P 45	中 事 業		農業振興対策費			
事業コード		003-004-002-01065	事 業 名		担い手育成総合支援事業（農林業）			
目的及び事業内容		本市の第一次産業においては、後継者不足等の理由により就業者の減少が続いている。新たな担い手を確保するために、新規就農者への就農支援助成金や支援拠点となる施設整備等の調査を実施する。						
取組実績		新規就農者独立支援事業（補助） 認定新規就農者等に対して2件、305,768円を助成した。						
成 果		新規就農者独立支援事業（補助） 認定新規就農者等の設備投資負担を軽減し、経営が不安定な就農初期段階における経営の安定化に寄与した。						
成果に係る評価		新規就農者独立支援事業（補助） 助成対象となる認定新規就農者等を拡充する事業と連携して、更なる制度運営の充実を図る。						
（単位：円）								
予算の執行状況	予算額		決算額		決算額の財源内訳			
					国(県)支出金	地方債	その他	一般財源
	2,500,000		305,768					305,768

予算科目	6 款	農林水産業費	総合計画	第3章	地域資源を活かして元気産業を創造するまち	復興計画	()	
	1 項	農業費		第4節	魅力的な農林業を確立する		()	
	4 目	畜産費		(3)	環境にやさしい農業を推進する		()	
実施計画掲載ページ		P 46	中 事 業		堆肥センター関係費			
事業コード		003-004-003-00170	事 業 名		有機施設整備事業			
目的及び事業内容		石巻市内4カ所の堆肥センターにおける畜産廃棄物の適正処理、及び良質堆肥を生産するための設備、機械を整備・更新することにより、畜産農業・耕種農業、実需者及び消費者の連携した資源循環型農業の推進を図る。						
取組実績		設備、機械（車両）の更新を実施した。						
取組実績				施設名	設備、機械名	金額		
				大谷地堆肥センター	マニユアスプレッタ購入	862,920円		
				かなん有機センター	攪拌機・シャッター修繕	6,242,626円		
				桃生堆肥処理センター	屋根・自動包装施設修繕	8,510,000円		
				北上堆肥センター	屋根・自動包装施設修繕	10,534,320円		
				計		26,149,866円		
成 果		マニユアスプレッタの更新及び老朽化した設備（攪拌機、シャッター、屋根、自動包装設備）の修繕により、畜産廃棄物の処理及び有機肥料の生産性が向上し、畜産振興が図られた。						
成果に係る評価		今後も定期的に老朽化した設備、機械（車両）を更新することにより、各有機施設の健全な運営が図られる。						
（単位：円）								
予算の執行状況	予算額		決算額		決算額の財源内訳			
					国(県)支出金	地方債	その他	一般財源
	27,400,000		26,149,866			10,000,000	9,000,000	7,149,866

予算科目	6 款	農林水産業費	総合計画	第3章	地域資源を活かして元気産業を創造するまち	復興計画	()																			
	1 項	農業費		第4節	魅力的な農林業を確立する		()																			
	4 目	畜産費		(3)	環境にやさしい農業を推進する		()																			
実施計画掲載ページ		P 46	中 事 業		牧場関係費																					
事業コード		003-004-003-00924	事 業 名		牧場施設整備事業																					
目的及び事業内容		足腰の強い、優良な肉用牛を生産し、畜産業の振興を図る。 上品山牧場の老朽化した施設の修繕。																								
取組実績		老朽化等により適正な維持管理を行うため、車両、機械、施設設備を修繕した。																								
		<table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>事業費</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>公用車修繕</td> <td>179,830 円</td> </tr> <tr> <td>トラクター修繕</td> <td>36,061 円</td> </tr> <tr> <td>ロールベラー修繕</td> <td>137,484 円</td> </tr> <tr> <td>水道管修繕</td> <td>344,750 円</td> </tr> <tr> <td>散布機スタンド修繕</td> <td>15,660 円</td> </tr> <tr> <td>電源引込口修繕</td> <td>71,280 円</td> </tr> <tr> <td>牧柵修繕</td> <td>2,411,046 円</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>3,196,111 円</td> </tr> </tbody> </table>							項目	事業費	公用車修繕	179,830 円	トラクター修繕	36,061 円	ロールベラー修繕	137,484 円	水道管修繕	344,750 円	散布機スタンド修繕	15,660 円	電源引込口修繕	71,280 円	牧柵修繕	2,411,046 円	計	3,196,111 円
項目	事業費																									
公用車修繕	179,830 円																									
トラクター修繕	36,061 円																									
ロールベラー修繕	137,484 円																									
水道管修繕	344,750 円																									
散布機スタンド修繕	15,660 円																									
電源引込口修繕	71,280 円																									
牧柵修繕	2,411,046 円																									
計	3,196,111 円																									
成 果		適正な維持管理確保のため牧場施設設備等を修繕したことにより、預託牛の快適な飼育環境の確保及び管理の安全性が図られた。																								
成果に係る評価		河北上品山牧場への放牧を通して、足腰が強く優良な肉用牛の生産に繋がり、畜産業振興が図られた。																								
予算の執行状況		(単位：円)																								
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳																							
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源																				
	3,200,000	3,196,111			2,700,000	496,111																				

予算科目	6 款	農林水産業費	総合計画	第3章	地域資源を活かして元気産業を創造するまち	復興計画	()	
	1 項	農業費		第5節	消費者に信頼される”石巻ブランド”を形成する		()	
	4 目	畜産費		(1)	製品の品質向上や総合的な流通体制の整備を図る		()	
実施計画掲載ページ		P 48	中 事 業		畜産振興対策費			
事業コード		003-005-001-01021	事 業 名		全国和牛共進会宮城県大会出品牛助成事業			
目的及び事業内容		第11回全国和牛能力共進会宮城大会への出品牛作出に向け、同実行委員会出品対策部会が選定した繁殖雌牛、及び生産された肉用牛に対し、経費の一部を助成することにより、石巻市が県内において優良な和牛生産地としての地位を確立することを目的とする。 【助成内容】 (1) 指定交配助成金 20,000円 指定交配後 (4) 特別報奨助成金 100,000円 候補牛選定後 (2) 産子助成金 50,000円 産子調査後 (5) 代表牛特別報奨助成金 1,000,000円 代表牛選定後 (3) 二次選定助成金 50,000円 二次選定後 (新設予定)						
取組実績		1 交付対象者 (1) 全共宮城県出品部会が選定した肉用牛を保留していること (2) いしのまき和牛改良推進組合の会員であること (3) 石巻市内に在住していること 2 助成対象 (1) 全共宮城県出品部会が全共宮城大会出品牛の母体として選定した繁殖雌牛、及び全共宮城県出品部会が指定する種雄牛から生産された肉用牛を対象とする (2) 原則として宮城県内の家畜市場から導入又は保留された肉用牛であること (3) 全共宮城大会に積極的に取り組む意思を有していること (4) 推進組合が実施する研修会や飼育管理指導に協力できること (5) 現在の飼養状況を4年間維持することが見込まれること 3 助成実績 (1) 産子助成金 22件 29頭 1頭当たり 50,000円 1,450,000円						
成 果		第11回全国和牛能力共進会宮城大会への出品牛作出に向けた、畜産農家の生産意欲が向上している。また、指定交配助成及び産子助成により、他の和牛と区別した飼育方法を確立することができた。						
成果に係る評価		平成29年9月に開催される第11回全国和牛能力共進会宮城大会に向けて、「特別報奨助成」及び「代表牛特別報奨助成金」により更なる意識改革を図っていく必要がある。						
予算の執行状況		(単位：円)						
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳					
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源		
	4,150,000	1,450,000				1,450,000		

予算科目	6 款	農林水産業費	総合計画	第 3 章	地域資源を活かして元気産業を創造するまち	復興計画	()	
	1 項	農業費		第 4 節	魅力的な農林業を確立する		()	
	5 目	農地費		(1)	効率的な高生産性農業を確立する		()	
実施計画掲載ページ	P 47		中 事 業	土地改良事業関係助成費				
事業コード	003-004-003-00181		事 業 名	多面的機能支払交付金事業				
目的及び事業内容	<p>農業・農村の有する多面的機能の維持・発揮を図るための地域の共同活動に係る支援を行い、地域資源の適切な保全管理を行う。</p> <p>対象区域（管内一円） 7,387ha 交付先：蛇田保全隊 ほかに18活動組織 事業期間 平成26年度～平成30年度</p>							
取組実績	以下の活動組織において、次の活動を行った。							
	1 農地維持活動（水路の草刈、泥上げ、農道の路面維持等）							
	2 資源向上活動（水路、農道等の軽微な補修、草花の植栽等）							
		H28	H27		H28	H27		
	組織名	参加人数	参加人数	対象農地面積	組織名	参加人数	参加人数	対象農地面積
	蛇田	1,175人	1,242人	17,828 a	鹿又	3,411人	3,181人	76,240 a
	稲井東部	1,985人	1,959人	44,400 a	広瀬	2,645人	2,834人	66,627 a
	稲井西部	606人	598人	18,780 a	須江	2,936人	2,824人	40,107 a
	小船越	2,612人	2,597人	53,806 a	北村	2,384人	2,251人	31,934 a
	飯野・成田	1,690人	1,703人	35,101 a	中津山1	3,627人	3,663人	57,306 a
	二俣	2,219人	2,183人	37,268 a	中津山2	2,310人	2,299人	30,113 a
	飯野川	2,952人	2,310人	25,670 a	桃生1	1,715人	1,687人	31,536 a
	北上	698人	261人	19,295 a	太田	1,409人	1,461人	30,803 a
前谷地	3,872人	3,773人	48,859 a	大川	801人	686人	23,935 a	
和瀬	3,042人	3,043人	49,081 a	合 計	42,089人	40,555人	738,689 a	
成 果	<p>地域の各団体が総意をもって地域共同活動として取り組み、地域環境保全、景観形成及び水田農業の持続的な発展など、今後高齢化が進む上で農家・非農家問わず住民が積極的に参加する自覚が芽生えている。</p> <p>また、地域の子供達が参加し、生き物調査を行うなど、地域の身近な自然についての学習も行っており、自然環境等の向上が図られた。</p>							
成果に係る評価	<p>地域が一体となって、身近な環境の維持・保全管理を推進する上で重要な事業であり、今後も持続的に事業が継続されるよう取り組む必要がある。</p> <p>平成26年6月に「農業の有する多面的機能の発揮の促進に関する法律」が成立し、平成27年度から施行されたため、安定的な制度となった。</p>							
(単位：円)								
予算の執行状況	予算額		決算額		決算額の財源内訳			
					国(県)支出金	地方債	その他	一般財源
	206,904,000		206,903,090		155,177,310			51,725,780

予算科目	6 款	農林水産業費	総合計画	第 3 章	地域資源を活かして元気産業を創造するまち	復興計画	(3)	自然への畏敬の念を持ち、自然とともに生きる	
	1 項	農業費		第 4 節	魅力的な農林業を確立する		(3)	大地とともに生きる	
	9 目	東日本大震災関係費		(1)	効率的な高生産性農業を確立する		(1)	被災農林業への再建支援	
実施計画掲載ページ	P 44、190		中 事 業	農業復興対策費					
事業コード	003-004-001-00631 003-301-001-00546		事 業 名	農村地域復興再生基盤総合整備事業(農地整備事業) 農山漁村地域復興基盤整備事業(農地整備事業)					
目的及び事業内容	<p>東日本大震災により被災した農村地域の復興を目的として農地整備事業を行う。単なる原形復旧だけでなく、大区画化により農地の面的な集約、経営の大規模化・高付加価値を行い、収益性の高い農業経営の実現を目指し、復旧・復興を加速化させる。</p>								
取組実績	1 施行内容								
	地区名	H28主要工事		H28事業費	地区名	H28主要工事		H28事業費	
	広瀬沼	区画整理工	120ha	120,000千円	大川	区画整理工	80ha	36,163千円	
	鹿又	区画整理工 暗渠排水工	83ha 229ha	121,000千円	北上	区画整理工 排水機場工	6ha 1箇所	22,274千円	
	二俣南	区画整理工	53ha	66,000千円	飯野川	区画整理付帯工	一式	4,751千円	
	蛇沼向	区画整理付帯工	一式	1,051千円	三輪田	排水機場工	1箇所	14,620千円	
	青木川	区画整理付帯工	一式	3,373千円	牡鹿	区画整理工	18ha	16,560千円	
	合計			311,424千円	合計			94,368千円	
	成 果	<p>ほ場区画を拡大するとともに、用排水路の分離・暗渠排水・農道整備等を一体的に整備することにより、ほ場の汎用化・集団化を図り大規模経営の足がかりとなる水田農業の生産性向上と生産コストの低減を図り、地域農業の活性化が図られた。</p>							
	成果に係る評価	<p>担い手が整備された大規模ほ場で、集約的な農業を展開しつつ、優良農地を将来にわたり適切に維持・保全することで、食料自給率を向上させ、農業の多面的機能を十分発揮することができるようになった。</p> <p>また、被災された地域における農地復旧は喫緊の課題であり、関係機関と協議しながらその進め方等を検討している。</p>							
(単位：円)									
予算の執行状況	予算額		決算額		決算額の財源内訳				
					国(県)支出金	地方債	その他	一般財源	
	405,792,000		405,792,000					405,792,000	

予算科目	6 款	農林水産業費	総合計画	第 5 章	心ゆたかな誇れるまち	復興計画	()	
	2 項	林業費		第 1 節	豊かな自然を次世代に継承する		()	
	2 目	林業振興費		(1)	自然環境を保全する		()	
実施計画掲載ページ	P81		中 事 業	松くい虫対策事業費				
事業コード	005-001-001-00187		事 業 名	松くい虫対策事業				
目的及び事業内容	松くい虫からの被害拡大を防止し、景観の保全と森林資源の確保を図るため、被害木の伐倒駆除や薬剤の樹幹注入・空中散布を実施する。							
取 組 実 績	事 業 名		事 業 量					
	松くい虫伐倒駆除事業		74 本					
	石巻、河南、桃生、北上地区		95 ㎡					
	樹幹注入剤による松林保全対策事業		237 本					
	石巻、北上、牡鹿地区							
	松くい虫防除事業（空中散布）		184.15 ha					
	松くい虫防除事業（地上散布）		4.52 ha					
成 果	貴重な景観の保全、森林・環境資源としての松林の保護、並びに山林の荒廃を防止した。							
	石巻圏域の被害量の推移(被害材積量)							
	H24	8,770㎡						
	H25	5,713㎡						
	H26	5,713㎡						
	H27	1,977㎡						
	H28	1,922㎡						
成果に係る評価	適期に伐倒駆除や防除事業を実施したことにより、被害量の減少に効果を上げた。松くい虫の被害を防ぐことにより、森林の多面的機能の維持及び森林資源の保護並びにCO2の削減に努めた。							
(単位：円)								
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳					
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源		
	63,296,000	63,200,759	41,342,518			21,858,241		

予算科目	6 款	農林水産業費	総合計画	第 3 章	地域資源を活かして元気産業を創造するまち	復興計画	()	
	3 項	水産業費		第 3 節	持続的な水産業の発展を図る		()	
	2 目	水産業振興費		(1)	水産資源や水環境の保全・管理に努める		()	
実施計画掲載ページ	P40		中 事 業	水産振興対策費				
事業コード	003-003-001-00167		事 業 名	密漁対策助成事業				
目的及び事業内容	広域的・組織的に行われているアワビ・ウニの密漁を防止するため、宮城県中部東海区（雄勝・牡鹿地区、女川町）に位置する宮城県漁業協同組合各支所及び牡鹿漁業協同組合で宮城県中部東海区密漁対策委員会を組織。同委員会に対し、共同監視事業に従事する監視船及び陸上監視所の活動経費の一部を補助し、沿岸水産資源の保護及び漁家経営の安定を図る。							
取 組 実 績	1 宮城県中部東海区密漁対策委員会による広域密漁監視活動実施状況 (金額：円)							
	実施漁協(支所)名		年間監視実績		監視に要した年間経費		補助金配分額	
			日数	時間				
	宮城県漁協雄勝町東部支所 監視船		54	251.0	3,300,732	石巻市	609,485	
	宮城県漁協女川町支所(出島) 監視船、監視所		94	634.0	3,500,326	女川町	177,888	
	宮城県漁協女川町支所(江島) 監視船、監視所		347	2,304.0	19,464,430	女川町	1,322,112	
	宮城県漁協寄磯前網支所 監視船		112	335.0	2,979,384	石巻市	628,587	
	宮城県漁協泊浜支所 監視船		アワビ漁解禁前の1ヶ月間及び他支所からの要請があったとき組合員所有船により監視活動を実施していたが、運航経費の問題から監視活動は実施していない。					
	牡鹿漁協 監視船		144	878.0	5,905,263	石巻市	1,461,928	
	宮城県漁協網地島支所 監視船		震災後、運航要員である組合員の高齢化や運航経費問題から常時監視活動は実施していない。又、小型船のため夜間の監視活動は困難である。監視活動は同じ網地島に係留する牡鹿漁協の監視船から要請があった場合補助にあたる。					
宮城県漁協表浜支所 監視船		監視船第七JFみやぎ丸(1.9トン)は小型船のため夜間の監視活動は困難である。平成28年度、監視活動は実施していない。						
合 計		751	4,402.0	35,150,135	石巻市	2,700,000		
					女川町	1,500,000		
組合員の高齢化や運航経費の負担などにより監視活動を実施していない漁協支所があるものの、復旧した監視船、監視所による監視活動を行った結果、不審船を発見し、追尾により漁場外に追い出すなど、密漁行為を未然に防止した。また、継続して夜間の監視活動を実施した結果、密漁船の出没が減少している。								
		当初計画	実績	割合				
延べ監視日数		1,010	751	74.4%				
延べ監視時間		6,504時間	4,402時間	67.7%				
成 果	アワビやウニなどの密漁防止に向けた取組は、震災前から行われていたが、震災後は高台移転等により被災した多くの住民が浜から離れたため、夜間に漁業者の監視の目が届かない状況となっていることから、密漁監視船・監視所を使用し、継続して夜間の監視活動を実施した結果、密漁船の出没が減少する等の密漁行為の抑止に繋がっている。							
成果に係る評価	監視活動に係る人件費、燃料費及び維持管理経費等の活動経費負担が実施主体の大きな負担となっているため、本市沿岸水産資源の保護、漁家経営の安定のためには、本事業による支援が必要であり、継続して支援を行っていく。							
(単位：円)								
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳					
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源		
	2,700,000	2,700,000				2,700,000		

予算科目	6 款	農林水産業費	総合計画	第3章	地域資源を活かして元気産業を創造するまち	復興計画	()	
	3 項	水産業費		第3節	持続的な水産業の発展を図る		()	
	2 目	水産業振興費		(5)	捕鯨の再開と鯨食文化の維持継承を図る		()	
実施計画掲載ページ	P41		中 事 業	捕鯨復活活動事業費				
事業コード	003-003-005-00164		事 業 名	捕鯨復活活動事業				
目的及び事業内容	本市は、我が国における近代捕鯨発祥の地として、鯨類資源を国内供給してきたが、現在、商業捕鯨は一時的に禁止されている状態にある。海洋資源の有効的活用と、本市が捕鯨によって築いてきた文化や産業を継承するため、商業捕鯨の再開を目指し、各種の活動を行っていく。							
取組実績	<p>捕鯨再開のため、全国の捕鯨に縁のある自治体（34団体）で「捕鯨を守る全国自治体連絡協議会」を構成し、本市は、我が国沿岸捕鯨の主要基地港を有することから、副会長を務めている。この協議会の組織において、捕鯨復活のための事業に参加し、日本政府や国際社会に対して、科学的に管理された捕鯨を再開することの必要性を強くアピールしていく必要がある。</p> <p>（総会、鯨フォーラム等のイベント参加、政党陳情その他） 捕鯨を守る全国自治体連絡協議会開催行事 全国鯨フォーラム2016東京（東京都千代田区）ほか 4回 （内訳） 4月 鮎川沖鯨類捕獲調査出港式（石巻市） 5月 全国鯨フォーラム2016東京（東京都千代田区） 8月 捕鯨を守る全国自治体連絡協議会総会（東京都千代田区） 9月 日本沿岸域鯨類捕獲調査出港式（北海道釧路市） 12月 第66回 IWC総会結果報告会（仙台市）</p>							
成 果	<p>1 本市は国内における沿岸小型捕鯨の中核的な基地港を有しており、鯨類捕獲調査の基地港となっている。捕鯨再開のための科学的調査の他、捕鯨技術の継承も図られる。今後も継続して、本市を調査捕鯨の拠点港としていただくよう働きかけるものである。</p> <p>2 捕鯨を守る全国自治体連絡協議会・全国鯨フォーラム 本会においては、政府に対する要望活動や、捕鯨再開をPRするためのイベント等を企画、実施しており、商業捕鯨の再開の必要性を訴えるとともに、政府の活動を後押しするものとなっている。 全国鯨フォーラム2016東京ではパネルディスカッション『捕鯨地域の伝統と文化～今後の展望』に市長がパネリストとして参加し、被災の状況、鮎川における鯨食文化の伝統及び調査捕鯨の状況などについて報告し、釧路市長、下関市長等とともに、捕鯨文化と鯨食文化の継承のため、活動を行った。</p>							
成果に係る評価	政府が国際社会に対し、科学的な調査に基づき、捕鯨再開の活動を行う上で、捕鯨に縁のある関係自治体が連携し、捕鯨の必要性を訴えていくことが後押しとなるものであり、今後とも活動を続けていく必要がある。							
（単位：円）								
予算の執行状況	予算額		決算額		決算額の財源内訳			
					国(県)支出金	地方債	その他	一般財源
	531,000		421,340				421,340	

予算科目	6 款	農林水産業費	総合計画	第3章	地域資源を活かして元気産業を創造するまち	復興計画	()	
	3 項	水産業費		第3節	持続的な水産業の発展を図る		()	
	2 目	水産業振興費		(5)	捕鯨の再開と鯨食文化の維持継承を図る		()	
実施計画掲載ページ	P41		中 事 業	鯨食普及事業費				
事業コード	003-003-005-00165		事 業 名	鯨食普及事業				
目的及び事業内容	鯨食文化の維持継承及び普及の促進並びに海洋食糧資源の持続的利用の啓発を図るため、市民等を対象として鯨肉頒布等の活動を実施するもの。							
取組実績	<p>1 住民頒布 冷凍鯨肉 頒布数量 8月（超低温 2日） ミンク鯨赤肉 1,050kg （上品の郷 1日） 150kg 12月（超低温 2日） ミンク鯨赤肉 425kg イワシ鯨赤肉 975kg （上品の郷 1日） 175kg 325kg 全体 ミンク鯨赤肉 1,800kg イワシ鯨赤肉 1,300kg</p> <p>2 学校給食 保育所 年1回、幼稚園、小・中学校 年1回 合計 1,400kg</p>							
成 果	国の鯨類捕獲調査事業の副産物である「鯨肉」を購入し、市民への頒布や市内小・中学校、幼稚園の児童生徒の給食に取り入れることにより、低脂肪、高たんぱくで希少な栄養素を含んでいる鯨肉の食習慣の普及と啓発が図られ、地域の鯨食文化の伝承にも寄与できた。							
成果に係る評価	平成28年度の頒布会は夏と冬に超低温冷蔵庫及び河北上品の郷に延べ6日間で実施し、準備した鯨肉のほぼ全量が頒布された。購入数量の制限があることから、十分な数量の確保が困難な状況にもあるが、住民の鯨肉への関心が高いことが見受けられた。 本市伝統の鯨食文化は、貴重な地域資源であると同時に海洋食糧資源の持続的利用の典型とされていることから、今後、さらに普及と啓発に努める必要がある。							
（単位：円）								
予算の執行状況	予算額		決算額		決算額の財源内訳			
					国(県)支出金	地方債	その他	一般財源
	7,587,000		7,236,540				7,236,540	

予算科目	6 款	農林水産業費	総合計画	第 章	復興計画	(3)	自然への畏敬の念を持ち、自然とともに生きる
	3 項	水産業費		第 節		(1)	海とともに生きる
	2 目	水産業振興費		()		(3)	被災水産業への再建支援
実施計画掲載ページ	P187		中 事 業	水産振興対策費			
事業コード	003-103-002-01117		事 業 名	農林水産物等輸出化販路拡大支援事業			
目的及び事業内容	石巻市の水産物及びその加工品の輸出振興に向けて、海外における石巻ブランドの販路の開拓や一層の輸出数量及び輸出品目の拡大を図るため、事業者が実施する石巻産水産物等の輸出拡大に向けた取り組みや、輸出に必要な衛生管理水準の向上に要する経費を一部助成するもの。						
取 組 実 績	1 平成28年度事業実績（HACCP導入支援助成金） 公募により採択した事業者に対し、支援を行った。 採択 2件 5,000,000円 ・株式会社 2,500,000円 ・南マルセ秋山商店 2,500,000円						
成 果	HACCP導入支援ではHACCP申請に必要なコンサルからの指導や体制の構築を支援することで、当該事業所における衛生管理基準の厳しいアメリカ圏やヨーロッパ圏へ向けた今後の海外販路拡大の体制構築が図られた。						
成果に係る評価	各事業者においてHACCP取得品目の拡大を行うことで、アメリカやヨーロッパへの輸出拡大を図るとともに、2020年に開催される東京オリンピックに向け、石巻の水産加工品が高鮮度で高度な衛生管理のもと製造されている「安全・安心」な商品であることを広くPRし、国内における販路回復にも努めていく必要がある。						
(単位：円)							
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳				
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源	
	5,000,000	5,000,000				5,000,000	

予算科目	6 款	農林水産業費	総合計画	第 3 章	復興計画	()	地域資源を活かして元気産業を創造するまち
	3 項	水産業費		第 3 節		()	持続的な水産業の発展を図る
	2 目	水産業振興費		(3)		()	水産業者の経営体質の強化を図る
実施計画掲載ページ	P41		中 事 業	水産振興対策費			
事業コード	003-003-003-01115		事 業 名	担い手育成総合支援事業（水産業）			
目的及び事業内容	本市の基幹産業である水産業は後継者不足等の理由により漁業就業者数の減少が続いていることから、移住者や若者を積極的に受け入れ、新たな担い手を確保するため、空き家等の未利用の建物を利活用し、短中期的に生活できるシェアハウス機能を持った「石巻市水産業担い手センター」を整備し、担い手育成のための事業運営を行う。 また、漁業協同組合等が行う担い手対策に係る経費の一部を補助し、新規就業者の確保・育成を支援する。						
取 組 実 績	1 水産業担い手センター運営事業 担い手センター事業の実施にあたっては、宮城県漁業協同組合から推薦を受けた一般社団法人フィッシャーマン・ジャパンと契約し、事業を実施。同法人は、漁師の担い手育成に寄与することを目的とし、地元若手漁業者などにより組織された団体で、本事業に最適な団体である。 実施に当たっては、地元漁業者の理解・協力が不可欠であることから、宮城県漁業協同組合との共同事業として実施している。 (1) 担い手センターの整備、運営 平成27年度に整備した茨浜地区に加え、平成28年度には泉町地区、北上地区に担い手センターを設置し、3か所を運営し、研修期間中の住まいとして、提供した。 (2) 短期研修の実施 漁業に興味のある人が実際の漁業作業や生活に触れ、漁師になるために学び、自らの将来を考えられるようなプログラム内容の2泊3日の短期研修を開催した。 ・開催日時 2016年7月1日～3日 ・参加者 4名 ・研修内容 オリエンテーション、定置網作業、牡蠣養殖作業、ホヤ養殖作業、石巻魚市場見学、ロープワーク、魚捌き方実習、ワークショップ (3) 水産業リクルートフェアの実施 新規就業者を確保するため、首都圏にて石巻市独自の漁業の魅力を感じられる雰囲気と漁師とのコミュニケーションの取りやすい内容の水産業リクルートフェアを開催し、石巻市の漁業の紹介と面接などを行った。 ・開催日時 2017年1月29日 ・参加者数 16名 ・開催場所 東京都千代田区 ・イベント内容 面接ブース、相談ブース、情報ブース、VR漁業体験ブース、飲食ブース 2 担い手育成総合支援事業 担い手育成総合支援事業については、漁業協同組合などによる漁業就業支援フェアへの参加費用を補助し、新規就業者確保活動を支援した。						
成 果	担い手センター事業により4名が地元受入漁業者の下、研修に取り組みしており、うち3名がセンターに入居している。水産業リクルートフェア参加者のうち1名が1週間の短期研修を行った。その他の参加者も研修の希望があるため、高校や大学の休みを利用した短期研修を予定している。						
成果に係る評価	本事業による求人活動や広報活動などにより、漁業就業希望者の確保につながった。 漁業者の著しい減少を食い止めるため、引き続き、同事業により新規就業希望者を確保、育成するとともに、地元漁業者の協力、理解を得ながら、長期的な取組みとして実施していく必要がある。						
(単位：円)							
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳				
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源	
	15,857,819	15,155,800				15,155,800	

予算科目	6 款	農林水産業費	総合計画	第 章	復興計画	(3)	自然への畏敬の念を持ち、自然とともに生きる
	3 項	水産業費		第 節		(1)	海とともに生きる
	5 目	東日本大震災関係費		()		(2)	漁港及び魚市場の復旧・復興
実施計画掲載ページ	P182		中 事 業	漁港施設機能強化事業費、長渡漁港農山漁村地域整備事業費、漁港災害復旧費			
事業コード	003-102-001-00415	事 業 名	漁港災害復旧関連事業〔復興交付金〕				
目的及び事業内容	<p>本市が管理する漁港施設のうち、東日本大震災災害復旧事業の対象にならない施設及び災害復旧事業と併せて改良等が必要な施設について整備を行った。</p> <p>また、長渡漁港と北上漁港について、防波堤の改良や岸壁の整備等を実施した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・漁港施設機能強化事業による市管理漁港の用地嵩上ほか施設整備一式 ・長渡漁港防波堤改良整備ほか一式 ・北上漁港岸壁整備ほか一式 						
取組実績	<p>災害復旧工事に関連する各種事業を実施し、漁港施設の復旧を図った。</p> <p>1 漁港施設機能強化事業</p> <p>(1) 災害復旧事業と併せ漁港用地の嵩上げ工事を実施し、施設の復旧を図った。</p> <p>ア 長渡、北上漁港ほか漁港用地嵩上工事</p> <p>予算額 969,286,030円 (H26繰越)</p> <p>決算額 184,556,180円 (H26繰越)</p> <p>繰越額 784,729,850円 (H26繰越)</p> <p>イ 避難誘導施設整備工事 (タラップ)</p> <p>予算額 63,460,000円 (H27繰越43,460,000円、H28現年20,000,000円)</p> <p>決算額 19,170,000円 (H27繰越)</p> <p>繰越額 43,140,080円 (H27繰越23,140,000円、H28現年20,000,000円)</p> <p>ウ 長渡、熊沢、前網漁港ほか漁港用地嵩上工事 (県間接補助)</p> <p>予算額 129,506,840円 (H26繰越68,021,840円、H28現年61,485,000円)</p> <p>決算額 90,131,380円 (H26繰越57,578,920円、H28現年32,552,460円)</p> <p>繰越額 28,932,540円 (H28現年)</p> <p>2 農山漁村地域整備事業</p> <p>(1) 長渡漁港防波堤改良工事及び北上漁港(大指)岸壁整備等を行った。</p> <p>ア 長渡漁港防波堤改良工事、北上漁港(大指)岸壁整備等</p> <p>予算額 208,504,760円 (H26繰越12,210,720円、H27繰越138,206,040円、H28現年58,088,000円)</p> <p>決算額 208,409,520円 (H26繰越12,116,760円、H27繰越138,206,040円、H28現年58,086,720円)</p>						
成 果	水産基盤施設の復旧に努め、漁港施設災害復旧事業及び関連する事業を実施することで沿岸漁業の復旧・復興の進捗が図られた。						
成果に係る評価	水産業施設の復旧及び沿岸漁業の復興を促進するため、引き続き災害復旧事業や関連する各種事業を実施することが重要である。						
(単位：円)							
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳				
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源	
	775,955,160	715,158,840	231,811,000	36,300,000	155,756,000	291,291,840	

予算科目	6 款	農林水産業費	総合計画	第 章	復興計画	(3)	自然への畏敬の念を持ち、自然とともに生きる
	3 項	水産業費		第 節		(1)	海とともに生きる
	5 目	東日本大震災関係費		()		(2)	漁港及び魚市場の復旧・復興
実施計画掲載ページ	P182		中 事 業	漁港海岸整備事業費			
事業コード	003-102-001-00533	事 業 名	海岸保全施設整備事業				
目的及び事業内容	<p>本市が管理する漁港海岸のうち、海岸保全施設がなかった海岸において、東日本大震災により新たに設定された津波防護高さによる防潮堤や水門、陸閘等の整備を行うもの。</p> <p>震災以前からある既存の海岸保全施設については災害復旧事業により復旧を行っているが、保全施設がなかった区間や保全施設がない漁港海岸においては本事業で防潮堤等を整備し、津波や高潮からの被害の軽減を図る。</p>						
取組実績	<p>1 海岸保全施設整備事業</p> <p>(1) 十八成、給分、大原、荒漁港ほか海岸保全施設整備工事、用地購入費</p> <p>予算額 1,096,202,880円 (平成27繰越506,202,880円、平成28現年590,000,000円)</p> <p>決算額 169,424,400円 (平成27繰越)</p> <p>繰越額 923,936,000円 (平成27繰越333,936,000円、平成28現年590,000,000円)</p>						
成 果	海岸保全施設整備事業と災害復旧事業を連携して実施することで防災機能の向上を図るものであるが、周辺の関連する他の事業と調整が整ったものから段階的に工事を実施し、進捗を高めることができた。						
成果に係る評価	本事業は平成25年度から実施しているが、事業内容が災害復旧事業や背後地で計画されている他の事業との関連性が大きく、調整に期間を要していたが、それらの整備計画が整ったものから段階的に実施に移行したが、引き続き災害復旧事業と併せて海岸保全施設の整備を進め、防災機能の向上を図る必要がある。						
(単位：円)							
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳				
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源	
	172,266,880	169,424,400	84,710,000			84,714,400	

予算科目	6 款	農林水産業費	総合計画	第 章	復興計画	(3)	自然への畏敬の念を持ち、自然とともに生きる																																																
	3 項	水産業費		第 節		(1)	海とともに生きる																																																
	5 目	東日本大震災関係費		()		(2)	漁港及び魚市場の復旧・復興																																																
実施計画掲載ページ	P183		中 事 業	水産物放射性物質対策事業費																																																			
事業コード	003-102-003-00421	事 業 名	放射能風評被害対策事業																																																				
目的及び事業内容	<p>東京電力福島第一原発事故の影響に伴う放射能問題について、魚市場を流通する主要な魚種のスクリーニング検査を行い検査結果を迅速に公表することにより、魚市場等で水揚げされる水産物の安全性の確保及び安定した流通を図る。</p> <p>放射性物質測定機器等の風評被害対策事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・簡易測定器による放射能検査の実施 ・放射能情報共有システムによる情報配信 																																																						
取 組 実 績	<p>1 放射能検査の実施及び放射能情報共有システムの運用</p> <p>本市では、各魚市場や水産業界と連携し、「石巻から100ペクレル超えの水産物を流通させない。」を目標に掲げ、検査体制を維持し、スクリーニング分析の強化に取り組んでいる。また、これまでの放射性物質検査で得られた測定結果や海域情報などの各種情報を石巻魚市場を利用する卸売人・買受人等の水産業界関係者で体系的に共有し、放射能対策への意識向上と風評被害対策として放射能情報共有システムを運用している。</p> <p>(1) 平成28年度予算 19,286千円 (2) 平成28年度実績 年間検査検体数 3,736検体検査済み (うち精密検査実施目安50ペクレル超過 0検体)</p> <p>※ 本市水産物の放射性物質検査体制（平成29年3月31日現在）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>設置場所</th> <th>機器台数</th> <th>検査時間</th> <th>検査日</th> <th>検査能力</th> <th>検査人員</th> <th>検査対象</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>石巻売場</td> <td>5台</td> <td>4:00～16:00</td> <td>市場開場日</td> <td>50検体/日</td> <td>3名</td> <td>水揚げ水産物等</td> </tr> <tr> <td>牡鹿売場</td> <td>1台</td> <td>9:00～16:00</td> <td>月～金</td> <td>7検体/日</td> <td>1名</td> <td>水揚げ水産物等</td> </tr> <tr> <td>北上総合支所</td> <td>1台</td> <td>9:00～16:00</td> <td>月～金</td> <td>7検体/日</td> <td>1名</td> <td>水揚げ水産物等</td> </tr> </tbody> </table> <p>※ 放射能情報共有システムによる情報配信</p> <ul style="list-style-type: none"> ・県内外海域における水産物の水揚げ自粛等情報配信 ・日々の放射性物質測定結果速報の配信 							設置場所	機器台数	検査時間	検査日	検査能力	検査人員	検査対象	石巻売場	5台	4:00～16:00	市場開場日	50検体/日	3名	水揚げ水産物等	牡鹿売場	1台	9:00～16:00	月～金	7検体/日	1名	水揚げ水産物等	北上総合支所	1台	9:00～16:00	月～金	7検体/日	1名	水揚げ水産物等																				
	設置場所	機器台数	検査時間	検査日	検査能力	検査人員	検査対象																																																
石巻売場	5台	4:00～16:00	市場開場日	50検体/日	3名	水揚げ水産物等																																																	
牡鹿売場	1台	9:00～16:00	月～金	7検体/日	1名	水揚げ水産物等																																																	
北上総合支所	1台	9:00～16:00	月～金	7検体/日	1名	水揚げ水産物等																																																	
成 果	<p>本事業で放射性物質測定を実施することにより、宮城県内で最も充実した検査体制を備えた産地魚市場として水揚げされる水産物の安全性の確保及び安定的な流通が図られた。</p> <p>1 市場流通数（魚種）及び年間検査検体数（検体）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">区分</th> <th colspan="2">成果指標</th> <th rowspan="2">達成率等</th> </tr> <tr> <th>目標値</th> <th>実績等</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">H23（試行期間）</td> <td>120魚種</td> <td>71魚種</td> <td>50%</td> </tr> <tr> <td>2,000検体</td> <td>441検体</td> <td>20%</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">H24</td> <td>120魚種</td> <td>119魚種</td> <td>90%</td> </tr> <tr> <td>5,000検体</td> <td>5,239検体</td> <td>100%</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">H25</td> <td>120魚種</td> <td>92魚種</td> <td>70%</td> </tr> <tr> <td>5,000検体</td> <td>5,906検体</td> <td>110%</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">H26</td> <td>120魚種</td> <td>121魚種</td> <td>100%</td> </tr> <tr> <td>5,000検体</td> <td>4,858検体</td> <td>90%</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">H27</td> <td>120魚種</td> <td>63魚種</td> <td>50%</td> </tr> <tr> <td>5,000検体</td> <td>4,103検体</td> <td>80%</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">H28</td> <td>120魚種</td> <td>76魚種</td> <td>60%</td> </tr> <tr> <td>5,000検体</td> <td>3,736検体</td> <td>70%</td> </tr> </tbody> </table>							区分	成果指標		達成率等	目標値	実績等	H23（試行期間）	120魚種	71魚種	50%	2,000検体	441検体	20%	H24	120魚種	119魚種	90%	5,000検体	5,239検体	100%	H25	120魚種	92魚種	70%	5,000検体	5,906検体	110%	H26	120魚種	121魚種	100%	5,000検体	4,858検体	90%	H27	120魚種	63魚種	50%	5,000検体	4,103検体	80%	H28	120魚種	76魚種	60%	5,000検体	3,736検体	70%
区分	成果指標		達成率等																																																				
	目標値	実績等																																																					
H23（試行期間）	120魚種	71魚種	50%																																																				
	2,000検体	441検体	20%																																																				
H24	120魚種	119魚種	90%																																																				
	5,000検体	5,239検体	100%																																																				
H25	120魚種	92魚種	70%																																																				
	5,000検体	5,906検体	110%																																																				
H26	120魚種	121魚種	100%																																																				
	5,000検体	4,858検体	90%																																																				
H27	120魚種	63魚種	50%																																																				
	5,000検体	4,103検体	80%																																																				
H28	120魚種	76魚種	60%																																																				
	5,000検体	3,736検体	70%																																																				
成果に係る評価	<p>市内魚市場等から基準を超える水産物を流通させないための検査を実施することができた。</p> <p>国の検査対象魚種は年々減少傾向にあるものの、未だに県内でもクロダイが水揚げ自粛となっており、また福島県沖海域における操業自粛が続いていることから、引き続き風評被害の払拭に努めることとし、今後も安心・安全な水産物を流通させるため、継続的に事業を行っていく。</p>																																																						
予算の執行状況	(単位：円)																																																						
予算額	19,286,000	決算額	決算額の財源内訳																																																				
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源																																																	
		19,161,237				19,161,237																																																	

予算科目	6 款	農林水産業費	総合計画	第 章	復興計画	(3)	自然への畏敬の念を持ち、自然とともに生きる																
	3 項	水産業費		第 節		(1)	海とともに生きる																
	5 目	東日本大震災関係費		()		(3)	被災水産業への再建支援																
実施計画掲載ページ	P183		中 事 業	水産業復興対策費																			
事業コード	003-103-001-00423	事 業 名	漁業経営震災復旧特別対策資金利子補給事業〔復興基金〕																				
目的及び事業内容	<p>燃油・漁業資材の高騰や、輸入水産物等による生産物の価格低迷及び震災の影響等により復旧期の資金繰りが困難な漁業者に対し、低利で利用可能な資金を用意することで漁業経営の安定に資するため県が設立した「漁業経営震災復旧特別対策資金」への県利子補給事業と連動し、利子補給を行い、最終的に漁業者が無利子で借入できるように支援するもの。</p>																						
取 組 実 績	<p>1 貸付対象者</p> <p>震災による被害について市長からの被害の認定を受けた被害漁業者であって、かつ、直近の水揚額又は売上額が平年水準に比し9割に満たない者（貸付対象者のうち、直近の水揚額又は売上額が平年水準に比し7割に満たない者を特認貸付対象者とする。）</p> <p>2 融資機関</p> <p>漁業協同組合、県内に本店を有する銀行、信用金庫及び信用組合</p> <p>3 資金の使途</p> <p>(1) 漁業経営に要する経費 (2) 当該年度の購買未払金</p> <p>4 貸付条件</p> <p>(1) 貸付限度額 5,000千円（特認貸付対象者の場合は10,000千円） (2) 基準金利 年2.35% (3) 貸付利率 無利子 (4) 償還期限等 5年以内（うち据置期間2年以内） (5) 償還方法等 年1回、元本均等償還、償還日：3月31日 (6) 利子補給率 0.35%以内（別途、県が2%を補給）</p> <p>5 融資及び利子補給実績</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>融資機関</th> <th>融資件数(件)</th> <th>融資金額(円)</th> <th>利子補給額(円)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>宮城県漁業協同組合</td> <td>8</td> <td>29,700,000</td> <td>70,322</td> </tr> <tr> <td>牡鹿漁業協同組合</td> <td>1</td> <td>5,000,000</td> <td>7,891</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>9</td> <td>34,700,000</td> <td>78,213</td> </tr> </tbody> </table>							融資機関	融資件数(件)	融資金額(円)	利子補給額(円)	宮城県漁業協同組合	8	29,700,000	70,322	牡鹿漁業協同組合	1	5,000,000	7,891	計	9	34,700,000	78,213
	融資機関	融資件数(件)	融資金額(円)	利子補給額(円)																			
宮城県漁業協同組合	8	29,700,000	70,322																				
牡鹿漁業協同組合	1	5,000,000	7,891																				
計	9	34,700,000	78,213																				
成 果	<p>新規の貸付はなく、過年度に漁業者へ貸付した融資機関へ利子補給を行い、漁業者の負担軽減を図った。</p>																						
成果に係る評価	<p>本事業により漁業者の資金面での負担を軽減し、漁業者による生産活動の早期再開を促進し、水揚げ量の回復につながっているため、引き続き、本事業を実施していく。</p>																						
予算の執行状況	(単位：円)																						
予算額	259,000	決算額	決算額の財源内訳																				
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源																	
		78,213				78,213																	

予算科目	6 款	農林水産業費	総合計画	第 章	復興計画	(3)	自然への畏敬の念を持ち、自然とともに生きる																				
	3 項	水産業費		第 節		(1)	海とともに生きる																				
	5 目	東日本大震災関係費		()		(3)	被災水産業への再建支援																				
実施計画掲載ページ	P184		中 事 業	水産業復興対策費																							
事業コード	003-103-001-00690	事業名	水産業共同利用施設整備支援事業〔復興基金〕																								
目的及び事業内容	被災した漁業者の本格的な復旧を目的に、操業に必要とする施設の整備を支援。漁業協同組合等が整備する共同利用施設のうち、かき処理場等の本格的な施設を復旧する場合で、国の「水産業共同利用施設復旧整備事業」を活用した事業を対象とする。事業費から国県補助金その他助成金を差し引いた額の3分の1以内を限度に補助するもの。																										
取組実績	1 平成27年度事業実績（繰越明許）																										
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>補助申請団体</th> <th>件数</th> <th>事業費</th> <th>市補助金額</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>宮城県中部施設保有漁業協同組合</td> <td>0</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>繰り越し</td> </tr> <tr> <td>宮城県漁業協同組合</td> <td>11</td> <td>176,629,000円</td> <td>9,811,000円</td> <td></td> </tr> <tr> <td>合 計</td> <td>11</td> <td>176,629,000円</td> <td>9,811,000円</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>							補助申請団体	件数	事業費	市補助金額	備考	宮城県中部施設保有漁業協同組合	0	-	-	繰り越し	宮城県漁業協同組合	11	176,629,000円	9,811,000円		合 計	11	176,629,000円	9,811,000円	
	補助申請団体	件数	事業費	市補助金額	備考																						
宮城県中部施設保有漁業協同組合	0	-	-	繰り越し																							
宮城県漁業協同組合	11	176,629,000円	9,811,000円																								
合 計	11	176,629,000円	9,811,000円																								
2 平成28年度事業実績（現年）																											
<table border="1"> <thead> <tr> <th>補助申請団体</th> <th>件数</th> <th>事業費</th> <th>市補助金額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>宮城県漁業協同組合</td> <td>1</td> <td>23,223,000円</td> <td>1,290,000円</td> </tr> </tbody> </table>							補助申請団体	件数	事業費	市補助金額	宮城県漁業協同組合	1	23,223,000円	1,290,000円													
補助申請団体	件数	事業費	市補助金額																								
宮城県漁業協同組合	1	23,223,000円	1,290,000円																								
3 翌年度への繰り越し 平成27年度事業は2団体に交付決定したが年度内に整備が完了せず、平成28年度へ繰り越しとなり、1団体は完了したが1団体は今年度内にも完了せず、事故繰越しとなった。 平成29年度繰越予算額 6,209,000円																											
成 果	一部、年度内に完了せず、繰越となったものの、震災により被災した荷揚げクレーン等の共同利用施設12件の復旧整備に係る経費の一部を補助し、養殖等沿岸漁業の再開を支援した。																										
成果に係る評価	国・県と連携し、本事業により水産業共同利用施設の復旧整備を支援することで、被災した漁業者による漁業活動の早期再開や負担軽減が図られ、水揚げ量の回復につながっているため、引き続き、同事業により支援を行っていく。																										
(単位：円)																											
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳																								
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源																					
	18,153,000	11,101,000			9,842,925	1,258,075																					

予算科目	6 款	農林水産業費	総合計画	第 章	復興計画	(3)	自然への畏敬の念を持ち、自然とともに生きる																																								
	3 項	水産業費		第 節		(1)	海とともに生きる																																								
	5 目	東日本大震災関係費		()		(3)	被災水産業への再建支援																																								
実施計画掲載ページ	P185		中 事 業	水産業復興対策費																																											
事業コード	003-103-002-00428	事業名	共同利用漁船復旧支援事業																																												
目的及び事業内容	被災した漁業者等による生産活動の早期回復を図るため、共同利用を目的として導入する漁船や漁具の建造費等を支援するものであり、各漁協等が交付決定を受けた国・県補助金「共同利用小型漁船建造事業」「共同利用漁船等復旧支援対策事業」（補助率5/6）を差し引いた各漁協等負担額の3分の1以内を補助するもの。																																														
取組実績	1 平成28年度事業実績（繰越明許）																																														
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>補助申請団体</th> <th>漁船</th> <th>漁具</th> <th>事業費</th> <th>市補助金額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>稲荷丸漁業生産組合</td> <td>0</td> <td>1</td> <td>1,800,000円</td> <td>100,000円</td> </tr> <tr> <td>牡鹿漁業協同組合</td> <td>1</td> <td>0</td> <td>328,710,000円</td> <td>18,261,666円</td> </tr> <tr> <td>宮城県中部施設保有漁業協同組合</td> <td>14</td> <td>33</td> <td>398,932,418円</td> <td>22,162,911円</td> </tr> <tr> <td>渡辺漁業生産組合</td> <td>1</td> <td>0</td> <td>177,746,000円</td> <td>9,874,778円</td> </tr> <tr> <td>渡波漁船漁業協同組合</td> <td>0</td> <td>3</td> <td>3,297,500円</td> <td>183,194円</td> </tr> <tr> <td>大國丸漁業生産組合</td> <td>1</td> <td>0</td> <td>24,845,000円</td> <td>1,380,278円</td> </tr> <tr> <td>合 計</td> <td>17</td> <td>37</td> <td>935,330,918円</td> <td>51,962,827円</td> </tr> </tbody> </table>							補助申請団体	漁船	漁具	事業費	市補助金額	稲荷丸漁業生産組合	0	1	1,800,000円	100,000円	牡鹿漁業協同組合	1	0	328,710,000円	18,261,666円	宮城県中部施設保有漁業協同組合	14	33	398,932,418円	22,162,911円	渡辺漁業生産組合	1	0	177,746,000円	9,874,778円	渡波漁船漁業協同組合	0	3	3,297,500円	183,194円	大國丸漁業生産組合	1	0	24,845,000円	1,380,278円	合 計	17	37	935,330,918円	51,962,827円
	補助申請団体	漁船	漁具	事業費	市補助金額																																										
稲荷丸漁業生産組合	0	1	1,800,000円	100,000円																																											
牡鹿漁業協同組合	1	0	328,710,000円	18,261,666円																																											
宮城県中部施設保有漁業協同組合	14	33	398,932,418円	22,162,911円																																											
渡辺漁業生産組合	1	0	177,746,000円	9,874,778円																																											
渡波漁船漁業協同組合	0	3	3,297,500円	183,194円																																											
大國丸漁業生産組合	1	0	24,845,000円	1,380,278円																																											
合 計	17	37	935,330,918円	51,962,827円																																											
漁業協同組合等による漁船、漁具、漁労設備などの復旧を支援し、漁業者の負担を軽減した。																																															
成 果																																															
成果に係る評価	国・県と連携し、本事業により共同利用漁船等の復旧整備を支援することで、被災した漁業者による漁業活動の早期再開や負担軽減が図られ、水揚げ量の回復につながっている。																																														
(単位：円)																																															
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳																																												
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源																																									
	51,985,050	51,962,827			51,962,827																																										

予算科目	6 款	農林水産業費	総合計画	第 章	復興計画	(3)	自然への畏敬の念を持ち、自然とともに生きる												
	3 項	水産業費		第 節		(1)	海とともに生きる												
	5 目	東日本大震災関係費		()		(3)	被災水産業への再建支援												
実施計画掲載ページ	P185		中 事 業	水産業復興対策費															
事業コード	003-103-002-00952		事 業 名	漁業活動ソーラー照明設置事業〔復興交付金〕															
目的及び事業内容	<p>漁業活動の多くは夜間や早朝の暗い時間帯に行われるため、漁港には照明設備が必要だが、震災により漁港内の照明設備が使用不能となったことから、漁業者の作業効率と安全を確保するため、照明を設置するもの。</p> <p>なお、有事の際に非常照明として機能するよう、停電の影響を受けないソーラー式LED照明を設置する。</p>																		
取組実績	<p>1 平成28年度事業実績</p> <p>(1) ソーラー式LED照明設置事業</p> <p>長渡漁港の災害復旧事業に合せ、照明灯具4基、ソーラー電源部2基を設置した。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>設置箇所数</th> <th>設置灯数</th> <th>事業費</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>4</td> <td>9,525,978 円</td> </tr> </tbody> </table> <p>(2) ソーラー式LED照明移設事業</p> <p>漁港の復旧工事により、漁業者が照明を必要とする場所が変わることから、使用状況に合わせて照明灯を移設したもの。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>移設箇所数</th> <th>移設灯数</th> <th>事業費</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>2</td> <td>636,120 円</td> </tr> </tbody> </table> <p>2 翌年度以降の事業</p> <p>漁港の復旧に合わせ必要と認められる場所への設置、移設を行う。</p>							設置箇所数	設置灯数	事業費	1	4	9,525,978 円	移設箇所数	移設灯数	事業費	1	2	636,120 円
設置箇所数	設置灯数	事業費																	
1	4	9,525,978 円																	
移設箇所数	移設灯数	事業費																	
1	2	636,120 円																	
成 果	<p>本市の漁港については、東日本大震災による被害の程度が大きく、現在も復旧途中であるものの、復旧が完了し、本設置が可能となった場所は、ソーラー式照明灯の移設を行い、漁業者が必要とする場所に明かりを提供した。</p> <p>また、長渡漁港では漁港の工事に合わせ、ソーラー式照明灯を設置し、漁業者及び漁港利用者に明かりを提供した。</p>																		
成果に係る評価	<p>必要な場所への明かりの提供により、震災後の照明灯がない状態での海への転落、転倒事故がなくなり、安全な漁業活動が行われている。また、各浜の実情に合わせて設置をしており、作業効率の向上が図られている。</p> <p>今後も、漁業者の安全と作業の円滑化を図るため、漁港の復旧に合わせて移設するとともに、必要箇所への追加設置を行う。</p>																		
(単位：円)																			
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳																
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源													
	47,000,000	10,162,098			7,621,000	2,541,098													

予算科目	6 款	農林水産業費	総合計画	第 章	復興計画	(3)	自然への畏敬の念を持ち、自然とともに生きる																														
	3 項	水産業費		第 節		(1)	海とともに生きる																														
	5 目	東日本大震災関係費		()		(3)	被災水産業への再建支援																														
実施計画掲載ページ			中 事 業	水産業復興対策費																																	
事業コード			事 業 名	水産加工業高度化施設復興整備事業（設備支援）〔復興交付金〕																																	
目的及び事業内容	<p>東日本大震災により甚大な被害を受けた地域水産業の復興を目的とし、「高付加価値化」「生産の効率化」「衛生管理の高度化」を満たす水産流通加工に必要な最新の設備等の整備に対し、全体事業費の2分の1の範囲内で支援するもの。</p>																																				
取組実績	<p>平成28年度事業実績</p> <p>公募により採択した28団体のうち、24団体に対し補助金を交付した。うち、1社は事業実施が困難となり辞退している。3団体については、設備の納品遅延や他事業との施工調整による平成28年度内の事業完了が困難となったため、平成29年度へ繰越しとなった。</p> <p>また、平成27年度に採択した事業者のうち、平成28年度に繰越して事業を実施していた4団体について、3団体が完了し、1社が事業実施困難となり辞退した。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>交付決定</th> <th>事業完了</th> <th>事業費</th> <th>補助金額</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>平成28年度</td> <td>27</td> <td>24</td> <td>274,619,247円</td> <td>130,876,000円</td> <td></td> </tr> <tr> <td>平成27年度</td> <td>24</td> <td>3</td> <td>46,590,000円</td> <td>23,295,000円</td> <td>繰越分</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>51</td> <td>27</td> <td>321,209,247円</td> <td>154,171,000円</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>(次年度繰越分)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>事業費</th> <th>補助金額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>平成29年度</td> <td>67,770,000円</td> <td>31,620,000円</td> </tr> </tbody> </table>							年度	交付決定	事業完了	事業費	補助金額	備考	平成28年度	27	24	274,619,247円	130,876,000円		平成27年度	24	3	46,590,000円	23,295,000円	繰越分	合計	51	27	321,209,247円	154,171,000円		年度	事業費	補助金額	平成29年度	67,770,000円	31,620,000円
年度	交付決定	事業完了	事業費	補助金額	備考																																
平成28年度	27	24	274,619,247円	130,876,000円																																	
平成27年度	24	3	46,590,000円	23,295,000円	繰越分																																
合計	51	27	321,209,247円	154,171,000円																																	
年度	事業費	補助金額																																			
平成29年度	67,770,000円	31,620,000円																																			
成 果	<p>石巻市震災復興基本計画においては、産業の復旧の課題として、「被災前の水準への復旧と付加価値を付けた復興が必要」としている。被災前の生産量へ回復させるとともに、高付加価値商品の生産と、販売額の増加を目的とし、実施している。</p> <p>平成28年度は前年度予算の残額を繰越し、再度公募を行い、多くの水産加工事業者に対し高度化設備導入に対する支援が図られた。</p>																																				
成果に係る評価	<p>市内の水産加工業においては販路の回復、生産数量の減少や労働力不足に加えて、平成28年度は原魚の水揚げも低迷し、依然厳しい状況となっている。打開策の一つとして商品の高付加価値化による生産高の回復に向けて本事業により水産加工業者への支援を行っている。事業が完了していない事業者の早期完了を促すとともに、水産加工事業者の生産量や雇用の回復、経営状況について、引き続き確認していく必要がある。</p>																																				
(単位：円)																																					
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳																																		
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源																															
	209,662,000	154,171,000			154,171,000																																

予算科目	6 款	農林水産業費	総合計画	第 章	復興計画	(3)	自然への畏敬の念を持ち、自然とともに生きる																														
	3 項	水産業費		第 節		(1)	海とともに生きる																														
	5 目	東日本大震災関係費		()		(3)	被災水産業への再建支援																														
実施計画掲載ページ				中 事 業	水産業復興対策費																																
事業コード				事 業 名	水産加工業従業員宿舎整備事業〔復興基金〕																																
目的及び事業内容		東日本大震災により被害を受けた本市の基幹産業の水産加工業の生産能力向上のため、中小水産加工業者等が実施する従業員確保（外国人実習生含む）のための宿舎整備を宮城県と協調して支援することにより、水産業の復興を促進するもの。 従業員の宿舎を整備するため、宮城県が行う「水産加工業従業員宿舎整備事業費補助金」に対する嵩上げ補助を行うもの。																																			
取組実績		<p>平成28年度事業実績</p> <p>宮城県の公募事業に採択された事業者のうち石巻市内の事業者が8社あり、そのうち年度内に事業が完了した事業者4社に対し補助金を交付し、平成28年度内に事業完了できなかった4社については平成29年度へ繰越となった。</p> <p>また、平成27年度に採択された11社のうち、平成28年度に繰越していた6社について事業が完了した為、補助金を交付した。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>交付決定</th> <th>事業完了</th> <th>事業費</th> <th>補助金額</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>平成28年度</td> <td>8</td> <td>4</td> <td>94,998,000円</td> <td>23,000,000円</td> <td></td> </tr> <tr> <td>平成27年度</td> <td>11</td> <td>6</td> <td>126,649,310円</td> <td>31,625,014円</td> <td>繰越分</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>19</td> <td>10</td> <td>221,647,310円</td> <td>54,625,014円</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>(次年度繰越分)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>事業費</th> <th>補助金額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>平成29年度</td> <td>87,301,905円</td> <td>21,825,476円</td> </tr> </tbody> </table>						年度	交付決定	事業完了	事業費	補助金額	備考	平成28年度	8	4	94,998,000円	23,000,000円		平成27年度	11	6	126,649,310円	31,625,014円	繰越分	合計	19	10	221,647,310円	54,625,014円		年度	事業費	補助金額	平成29年度	87,301,905円	21,825,476円
年度	交付決定	事業完了	事業費	補助金額	備考																																
平成28年度	8	4	94,998,000円	23,000,000円																																	
平成27年度	11	6	126,649,310円	31,625,014円	繰越分																																
合計	19	10	221,647,310円	54,625,014円																																	
年度	事業費	補助金額																																			
平成29年度	87,301,905円	21,825,476円																																			
成 果		従業員への雇用促進を目的として水産加工事業者が整備する従業員宿舎整備に対して、宮城県が平成27年度から実施している本支援事業に、本市も協調して支援することで水産加工事業者の従業員確保と負担軽減が図られた。																																			
成果に係る評価		震災後の水産加工業では、販路回復の他に従業員の確保（労働力不足）が課題となっており、市の平成27年の従業員数は2,627人、加工品生産数量は67,171トンとなっており、従業員数、生産数量ともに震災前の6割程度に留まっている。 宮城県が採択した事業者のうち、本市の水産加工業者に対し支援を行っているが、募集の度に本市の事業者が採択されていることから、本事業の需要は高く、今後も継続して事業を実施していく予定である。																																			
(単位：円)																																					
予算の執行状況		予算額	決算額	決算額の財源内訳																																	
				国(県)支出金	地方債	その他	一般財源																														
		110,423,942	54,625,014			54,625,014																															

予算科目	6 款	農林水産業費	総合計画	第 章	復興計画	(3)	自然への畏敬の念を持ち、自然とともに生きる						
	3 項	水産業費		第 節		(1)	海とともに生きる						
	5 目	東日本大震災関係費		()		(2)	漁港及び魚市場の復旧・復興						
実施計画掲載ページ				中 事 業	(仮称) 水産総合振興センター整備事業費								
事業コード				事 業 名	(仮称) 水産総合振興センター整備事業 〔復興交付金〕・〔復興基金〕								
目的及び事業内容		水産物地方卸売市場及び後背地の水産加工団地関係者の研修や加工技術の向上、商品開発の研究等を行うための機能と、漁業者や市場関係者、水産加工業関係者等が利用する食堂や売店、入浴施設等の福利厚生施設、並びに卸売市場と連絡通路で直結し、有事の際の一時的な避難スペースとして活用できる防災機能を備える施設として、「石巻市水産総合振興センター」を整備する。 併せて、市場の高度衛生管理に係るベルトコンベア、電動フォークリフト等の格納、整備を行うための作業保管施設（水産倉庫）を整備する。											
取組実績		<p>1 石巻市水産総合振興センター建設工事等の実施（平成26年度～平成28年度継続事業） 石巻市水産総合振興センター建設整備工事及び情報資料室の展示設計造作業を実施した。 （平成28年12月一部完成、平成29年5月末全館完成予定）</p> <p>2 石巻市水産倉庫建設工事等の実施 石巻市水産倉庫の建設整備工事を実施した。（平成29年1月完成）</p>											
成 果		<p>総事業費に対する支出済額</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>総事業費</th> <th>支出済額</th> <th>進捗率</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>2,060,901,831円</td> <td>2,020,164,231円</td> <td>98.0%</td> </tr> </tbody> </table> <p>※総事業費は、H28年度までの全体事業費（見込額） ※支出済額は、H25～28年度までの支出済額合計</p>						総事業費	支出済額	進捗率	2,060,901,831円	2,020,164,231円	98.0%
総事業費	支出済額	進捗率											
2,060,901,831円	2,020,164,231円	98.0%											
成果に係る評価		被災した「水産物流通加工総合管理センター」と「卸売市場管理棟」にあった機能を有した多機能施設と水産倉庫が完成し、新魚市場の利便性向上や水産業振興を図るための拠点施設を整備することができた。											
(単位：円)													
予算の執行状況		予算額	決算額	決算額の財源内訳									
				国(県)支出金	地方債	その他	一般財源						
		1,101,290,000	1,076,968,261			872,514,548	204,453,713						

予算科目	6 款	農林水産業費	総合計画	第 章	復興計画	(3)	自然への畏敬の念を持ち、自然とともに生きる																				
	3 項	水産業費		第 節		(1)	海とともに生きる																				
	5 目	東日本大震災関係費		()		(3)	被災水産業への再建支援																				
実施計画掲載ページ		P184	中 事 業		漁業集落防災機能強化事業費																						
事業コード		003-103-001-00544	事 業 名		漁業集落防災機能強化事業〔復興交付金〕																						
目的及び事業内容 東日本大震災により被災した漁業集落について、土地利用の再検討や集落の復興並びに防災機能の強化を図り、生活基盤の復興を推進するため、集落道、避難路、排水路及び水産関係用地等の整備を行うもの。																											
取組実績 漁業集落防災機能強化事業に係る工事及び用地取得等を実施した。 1 石巻市復興整備事業半島部防災集団移転促進事業等管理支援（その2）業務 予算額 266,847,000円 決算額 266,846,400円 2 石巻市復興整備事業半島部防災集団移転促進事業等工事施工等に関する一体的業務 予算額 2,797,254,000円 決算額 0円（繰越） 3 石巻市清水田浜沢整備工事 予算額 75,200,000円 決算額 30,490,000円（前払のみ支出、繰越） 4 用地取得 123筆 32,797,801円 5 物件等移転補償 45件 40,672,738円																											
成 果 56集落において工事施工契約を締結し、順次工事着手している。 当初契約日：平成27年9月4日 契約相手：清水・奥村石巻市復興整備事業半島部防災集団移転促進事業等共同企業体 契約済額：6,545,773,092円 ○ 整備集落数																											
<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>漁集事業のみ</th> <th>漁集及び低平地事業</th> <th>計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>対象集落</td> <td>7</td> <td>50</td> <td>57</td> </tr> <tr> <td>うち契約集落</td> <td>7</td> <td>49</td> <td>56</td> </tr> <tr> <td>うち今後契約集落</td> <td>0</td> <td>1</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>完成集落</td> <td>2</td> <td>1</td> <td>3</td> </tr> </tbody> </table>									漁集事業のみ	漁集及び低平地事業	計	対象集落	7	50	57	うち契約集落	7	49	56	うち今後契約集落	0	1	1	完成集落	2	1	3
	漁集事業のみ	漁集及び低平地事業	計																								
対象集落	7	50	57																								
うち契約集落	7	49	56																								
うち今後契約集落	0	1	1																								
完成集落	2	1	3																								
成果に係る評価 対象被災集落57のうち3集落が完成し、今後においても生活基盤や防災安全施設整備を実施し、漁業生産基盤の再生を図ることから水産業の復興を推進するため、他事業と連携を図りながら、事業を継続していく必要がある。																											
（単位：円）																											
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳																								
			国（県）支出金	地方債	その他	一般財源																					
	865,139,731	385,352,386			285,058,000	100,294,386																					

予算科目	6 款	農林水産業費	総合計画	第 章	復興計画	(3)	自然への畏敬の念を持ち、自然とともに生きる
	3 項	水産業費		第 節		(1)	海とともに生きる
	5 目	東日本大震災関係費		()		(3)	被災水産業への再建支援
実施計画掲載ページ		P186	中 事 業		さけ人工ふ化場整備事業費		
事業コード		003-103-002-00954	事 業 名		さけ人工ふ化場整備事業〔復興交付金〕		
目的及び事業内容 稚魚を放流して数年後に漁獲する「さけ」は、沿岸漁業の重要な収入源となっており、後川さけ人工ふ化場で生産した稚魚の放流が地域の漁業者の漁獲を支えてきた。しかし、震災でさけ人工ふ化場は壊滅的な被害を受け、現在は他のふ化場より稚魚を移入し放流している状況であるため、津波で甚大な被害を受けたさけ人工ふ化場の復旧整備を行うもの。 ふ化場を本復旧させることで、本施設で生産した稚魚を放流し、安定した漁獲量に戻すことで、被災者した漁業者の生業の再生を図る。							
取組実績 1 平成27年度事業実績（繰越明許） (1) 石巻市（後川）さけ人工ふ化場新築工事 測量・地質調査業務 後川さけ人工ふ化場の新築にあたり、測量調査及び地質調査を実施したもの。 契約額：5,938,920円 工 期：平成28年3月8日から平成28年6月30日 請負者：東北ボーリング㈱ 2 平成28年度事業実績 (1)（仮称）後川さけ人工ふ化場新築工事設計業務 後川さけ人工ふ化場の新築にあたり、基本・実施設計を実施したもの。年度内の完了が困難となったことから翌年度に繰越したもの。 契約額：18,792,000円 工 期：平成28年11月8日～平成29年6月30日 請負者：㈱アルファ水工コンサルタンツ							
成 果 設計業務は年度内の完了が困難となり、翌年度に繰り越すこととなったが、測量・地質調査は完了し、平成29年度の新築工事に向け、設計業務を進めている。							
成果に係る評価 平成29年度の新築工事、平成30年度からの生産、放流に向け、今年度行った測量・地質調査を踏まえ、設計業務を進めていく。							
（単位：円）							
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳				
			国（県）支出金	地方債	その他	一般財源	
	35,000,000	5,938,920			5,938,920		